

文学創造都市おかやまをPRする文学情報誌 「うったて」第2号を発行します

市の魅力を様々な角度から取り上げPRする文学情報誌「うったて」の第2号を発行します。
「おかやま音楽中心生活」をテーマに、地元出版社や著名作家らとともに、市民参加型で制作した本号を、2月28日から配布開始します。

1 概要

発行部数 15,000部(B5変形判、52ページ、フルカラー)

配布場所 全国の書店、岡山市立図書館、岡山市役所本庁舎 など

※詳細はうったて公式サイト (<https://uttate.net/>)に掲載します

配布時期 令和7年2月28日(金)より順次配布予定

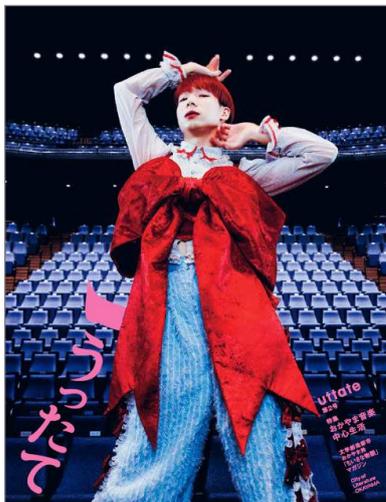
発行回数 年2回発行予定

◎内容

特集『おかやま音楽中心生活』

- ・ うったてインタビュー 岡山で出会ったカルチャーが私の原点 ゆっきゅん
- ・ スケッチーズ ※しみんライターが寄せた岡山の音楽についてのあれこれ
- ・ 私の音楽中心生活 ‘80年代 私的・音楽喫茶アーカイブ 三村佳代子(みむら・かよこ)
- ・ エッセイ 音の記憶 乗代雄介(のりしろ・ゆうすけ)

など



▲表紙



▲誌面の一部

2 第2号の特徴

- 岡山市出身で、セルフプロデュースでの音楽活動や作詞提供、批評・エッセイの執筆など多彩な活動で注目を集める ゆっきゅん氏へのインタビューを掲載
- しみんライター提出原稿の増加に応じて掲載コーナー「スケッチーズ」ページ数を拡大
※創刊号7ページ→第2号15ページ

3 うったて概要

当プロジェクトは、令和5年10月に岡山市がユネスコ創造都市ネットワーク(文学分野)へ国内で初めて加盟し、文学によるまちづくりを進める一環として令和6年9月に創刊しました。

編集委員には、地元出版社の吉備人出版代表の山川氏、元タウン誌編集者の三村氏らが名を連ね、連載では最新作「二十四五」が芥川賞候補となった乗代雄介氏や作家の小暮夕紀子氏のエッセイが並びます。

編集にあたっては、作家、ライター、編集者など文学に関わる人材育成を目指し、プロだけでなく市民の参加を募っています。市民参加をサポートするため、まちの魅力を学ぶ「ライターの教室」と「公開編集会議」を併せた「うったてミーティング」を月1回開催しています。



▲過去の「うったてミーティング」の様子

【問い合わせ先】

岡山市文化振興課 門田・新居田・山下

電話番号：086-803-1054 内線3747

※「うったて」の編集及び「うったてミーティング」の詳細は、下記までお問い合わせください。

「うったて」編集室（吉備人出版内）

電話番号：086-235-3456